

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 101 号

発行日 令和 6 年11月30日

発行人 白 石 直 人

TEL・FAX 026-244-5165

「ながの未来トーク」行われる！

～ 荻原市長が浅川を訪問、視察・懇談 ～



【展望広場に集合、視察開始！】

10月23日（水）荻原市長以下、市の幹部職員を浅川地区に迎えて、「ながの未来トーク」が行われました。当日、視察メンバーは浅川ダム展望広場に集合し、長野市浅川葡萄農園のワイン醸造所・農園視察、宋裕光園主（伺去）から説明を受けた後、ブランド薬師裏参道から薬山山頂まで車で上がり、八櫛神社では宮澤重徳八櫛神社保存会長（北郷）から説明を受けました。その後表参道を下り池田茂「チームフロンティア・浅川」事務局長の案内で

整備された河川敷遊歩道を歩いて、真光寺公民館に至りました。

荻原市長はアスリートらしく疲れも見せず、浅川地区のまちづくりや地域活性化の核となるブランド薬師や浅川ダム周辺における取り組みの現況をつぶさに視察し、真光寺公民館での懇談では住民自治協役員・関係団体と視察を踏まえて限られた時間の中で有意義な意見交換を行いました。

市長は懇談の総括において「これまであまり考えてこなかった浅川ダムに対する想いやワイナリー開設までの歩みを知り、改めて浅川地区のみなさんの熱心な取り組みに敬意を表したい。今後とも住民自治協・市がそれぞれできることを協力して行っていきたい。」とまとめ、懇談は終了しました。



【懇談会の様子（真光寺公民館）】

※出席者は以下のとおり（*印：視察同行メンバー）

（長野市関係）

荻原健司市長、中村裕一企画政策部長、藤澤勝彦市民・生活部長、北澤義幸都市整備部長、村田和弘観光振興課長補佐、山本知子文化財課長補佐、湯本堅太農業政策課長補佐兼農業戦略室長、宮本隆志浅川支所長ほか広報広聴課職員及び市長秘書

（住民自治協議会関係） *印：視察対応者

*白石直人住自協会長、*小林克巳同副会長、西澤拓美同副会長、*松木基浩同副会長、*小山義直同副会長、*寺沢さゆり顧問、*宮澤重徳八櫛神社保存会長、*竹村美岐雄チーム・フロンティア浅川代表、*池田茂同事務局長、*宋裕光浅川葡萄農園主、*松木政夫区長会副会長、石坂健治同副会長、*竹村正明同副会長、山崎智功真光寺副区長、下村守昭地域活性化推進員、*小川和夫事務局長

※懇談テーマと市からの回答

1. 浅川地区の概要及び「まちづくり計画推進」の経過

*白石会長より中山間地区と市街化地区が併存する浅川地区の特徴や大規模区と小規模区の課題や格差について説明があり、浅川地区における人口減少・高齢化・活動の担い手不足等、組織的課題についての理解と認識共有化を求めた。

2. 八櫛神社（ブランド薬師）文化財指定・保存の取り組み

*宮澤八櫛神社保存会長より長野市有形文化財指定までの経過とこれまでのブランド薬師及び参道の整備の取り組みについて説明があり、来年度中には神社社殿の修復を行う計画のため、市の助成措置含



【薬山山頂からブランド薬師まで下り、八櫛神社で宮澤保存会長から説明を受ける】

め格段の支援を要請した。

【回答】修復の際の助成については補助制度の活用や保存整備の方針も含め保存会の皆様と検討していきたい。遊歩道整備について地区で対応困難な危険木伐採や修繕について今後も同様に市として対応していきたい。

3. ブランド八幡公園・浅川ダム周辺整備及び浅川ダム展望広場愛護会の活動

＊竹村チーム・フロンティア浅川代表より、「まちづくり計画」推進の中で浅川ダム周辺の整備に取り組んできた経過を説明、今年度「ながの花と緑の大賞2024」で大賞を受賞したこと、また「浅川ダムは地域の宝」として継続的な市の理解と支援を求めた。



【十三仏を見ながら表参道を下り、浅川河川敷遊歩道を真光寺公民館へ】

【回答】市としてもハナモモはじめ花の球根を提供し公共緑化に役立てていただいていることに深く感謝する。今後とも継続して地域緑化にご協力いただきたい。またダム愛護会の活動については規定に基づく報奨金を支払っているので今後とも引き続きご協力を。また園内案内看板等の要望があれば相談されたい。

4. 長野市浅川葡萄農園への支援の取り組み（醸造所開設に向けて）

＊懇談に出席できなかった宋園主に代わって、小川事務局長からようやく3カ所にワイナリーが開設された「ワイン特区」長野市として、「ワイン用ぶどう産地形成事業」に次ぐ新たなワイナリー向けの補助制度の創設、ワイナリー間の連携・情報交換の場・機会の提供、長野市産ワインの知名度向上策の強化、経営・税務相談窓口の設置等の要望を行った。



【浅川葡萄農園ワイナリーとぶどう畑で宋さんの説明を受ける】

【回答】市内のワイン用ぶどう栽培面積は令和5年10月時点で15.5ha、20の生産者が栽培に取り組んでいる。令和5年1月、「長野市ワイン・シードル特区」認定を受け、現在篠ノ井有旅、信州新町、浅川の3ワイナリーとなった。引き続き栽培支援を行うとともに、今後各ワイナリーの特色ある「長野市産ワイン」が誕生することからブランド化に生産者と共に取り組んでいきたい。



浅川小学校自転車クラブ 長野中央署から表彰される



9月17日（木）浅川小学校自転車クラブと浅川地区交通安全協会（会長・杉原利治さん（浅川団地））が、永年継続して交通安全防止に貢献してきたことに対して、長野中央署から感謝状が贈られました。クラブの児童たちには長野中央署長から「自転車指導員証」を交付され今後の活動に気持ちを新たにしています。



【自転車クラブのメンバー（長野県大会）と交通安全協会の杉原会長】



【交通安全こども自転車長野県大会の様子】

浅川小学校自転車クラブは40年前に発足し、長野市内の小学校で唯一存続しているクラブです。今年は4、5年生の5人が活動しています。7月の交通安全こども自転車長野県大会では団体で第5位、個人で第2位の成績を収めました。

指導者の減少や児童の練習時間の確保ができずクラブ数が減少する中で活動を継続していることについて、杉原会長は「これからみなさんの協力を得て出来るかぎりクラブの活動を引き継いでいけたら」と話していました。

浅川地区防災訓練行われる ～浅川地区災害対策本部～

9月28日（土）浅川地区防災訓練が行われ、80名余が参加しました。各区長（自主防災会長）は電話で支所に被災状況第1報を伝え避難を開始、災害対策本部長（住民自治協議会長）以下、各班長等第1次配備者は9時までに防災対策本部を立ち上げ、避難してきた各区からの被災情報（第2報）を情報班に集める情報伝達訓練を行いました。

今年は訓練項目を見直し、区長・防災指導員は浅川支所会議室において若槻分署職員の指導で避難所設営訓練を、その他の区民・参加者は浅川公民館大会議室で避難所用簡易ベッド・簡易トイレの組み立ての実践訓練を行いました。また併行して救急救護班が炊出し訓練を行い、訓練の最後に麵つゆで味付けした炊出し米が参加者に配られました。

それぞれの訓練終了後、参加者全員が大会議室に集合し鶴賀消防署宇田修署長補佐（消防司令）による「令和6年能登半島地震における緊急消防援助隊の活動」の報告が行われました。

近年甚大化する台風や線状降水帯による豪雨災害等への備えがますます重要になっています。浅川地区では幸いにして地区全体にわたる大きな災害が少なく、5年前の台風19号災害や平成26年の神城断層地震による被害の記憶も徐々に薄れつつある中で、普段からの心構えと準備が必要だと改めて感じさせられました。



【訓練開始式】



【避難した区から被害状況伝達】



【HUG（避難所運営ゲーム）の様子】



【ダンボールベッドと簡易トイレの組立て実践訓練】



【炊出し訓練～防災用釜で茹でた炊出し米を参加者に配布しました】



【能登半島地震の状況を報告する土田消防司令】



第42回「浅川ゆうわ祭」開催される！！

11月3日（日）「ゆうわ祭」が開催されました。前日までの雨も上がり秋の空が広がりました。

外会場では地公連恒例の焼きそば・おやき、社協の駄菓子屋、男塾参加者の燻製、区長OB有志のやまめ塩焼き、ふくちゃん会のフリマ、産業振興部会の農産物直売、また育成会コーナーでは子ども達が自由に絵を描くエコバッグ作りなど、多彩な出店に大勢の来場者で賑わいました。

ステージ発表では出演した団体は初出演の団体もあり8団体が日頃の活動の成果を披露、熱演に盛大な拍手が湧きました。展示コーナーでは写真、手まり、絵画、パッチワーク、陶芸など、趣味の域を超えた力作が揃いました。館内には更生保護女性会の手作り品やボッチャ体験の部屋も設けられました。

（教育文化部会 地区公民館連合会）

出店・出演すべてご覧下さい！



地公連の焼きそば・おやき



社協の駄菓子屋



「男塾」のくん製



区長OBやまめの串焼き



ふくちゃん会フリマ



産業振興部会の農産物直売



育成会エコバッグ作り



浅川小学校合唱部



コールボラン（初出演）



すずらん保育園



北部中学校合唱部



トーンチャイム



南京玉すだれ



コールポプラ



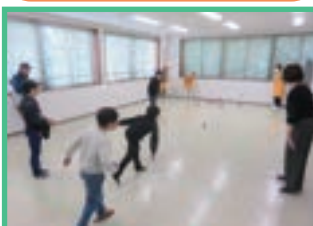
太極拳



更生保護女性会



ボッチャ体験コーナー



展示コーナー



浅川地区戦没者追悼式挙行される

10月5日（土）戦没者御遺族10名含め37名が参列して、浅川地区戦没者追悼式が行われました。式は列席者黙祷、君が代斉唱、白石直人実行委員長の式辞、埴橋茂人県議、寺沢さゆり市議、竹元忠造遺族会長の追悼の言葉が慰霊に捧げられ、続いて献花が行われました。

戦後79年を経過し遺族の高齢化が進み、遺族会員は現在22名と減少の一途を辿っております。

国連のグテレス事務総長が「世界は嵐の中にある」と言い、バイデン大統領はイスラエルのレバ

ノンへの攻撃を「全面

戦争」の可能性があると警鐘を鳴らし、ウクライナへのロシアの侵攻は出口を見いだせず、中国は台湾侵攻への威嚇と東シナ海への進出を強めているように、世界は極めて危うい混沌とした状況下にあります。

こうした中において日本がどのような道を選択するか、戦争放棄を国是とすることの意味を改めて自問する一日となりました。

（浅川地区戦没者追悼式実行委員会）



【黙祷】



【山岸実行委員長 “式辞”】



【竹元遺族会長 “追悼のことば”】



【十五年戦争の戦没者招魂碑～93柱のお名前がある（公民館分室前庭）】



【献花】



【遺族会、来賓のみなさん】

浅川にワインの風を！～醸造所を開設しました！～

【地域おこしの現場から vol.13】

11月に入り朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、冬の気配を感じています。

本年度のブドウの収穫は傷みを多く出してしまい、大幅な収穫減の非常に厳しい年となりました。今年からは委託醸造先へ搬入するための一気収穫の必要がなくなった為、収穫ボランティア募集も行わず、9月下旬から傷みを見ながら品種ごとに日々収穫を行い、10月末に全ての収穫を終えました。来年は今年の教訓を活かし、地元の皆様と一緒に収穫ができるよう綺麗な果実をたくさん実らせたいと思います。



【山ソービニヨンの袋掛け】



【収穫した仕込みのブドウ】



【醸造用のプレス機】



【木樽で熟成させます！】

そして念願の醸造所を、9月中旬に酒造免許を取得し開業することが出来ました！

いよいよ浅川での醸造が開始します。出来るかぎり品質のあるワインとシードルを生産できるように努めたいと思いますので、引き続き応援の程どうぞよろしくお願い致します。

（長野市浅川葡萄農園

宋 裕光（同去）

社会福祉協議会コーナー

共に生きる



秋のふれあい会食会

おひとり暮らしのご高齢の方をお招きしてのふれあい会食会が開催されました。

今年度も「かざぐるま保育園」の年中・年長のみなさんが参加してくれました。稲田にある保育園から歩いて浅川公民館まで来てくれたお子さんたちの体力に驚き、園児さんの可愛らしい歌や踊りに元気づけられました。

食事は今回も浅川社会福祉協議会の役員を中心に赤十字奉仕団浅川分団、福祉推進委員会の方々の手作りで。具だくさんの“すいとん”は昔懐かしく、心も身体もぽかぽかと温くなりました。

浅川社会福祉協議会では来年度もこのような活動が続けていきたいと考えています。これからも地域のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



いい11ひよりの会 毎月開催しています！



浅川社会福祉協議会では交流・つどいの場の創出を目的に、毎月11日（8月を除く）に浅川支所会議室でサロンを開催しています。名称は開催日にちなんで「11 ひよりの会」です。

10月の「11 ひよりの会」には、住民自治協議会の職場体験学習に来ていた北部中学校2学年の生徒も参加し、参加した皆さんに季節に合わせた工作をご紹介します。また、みなさんとお話しする中で地域福祉とは何か？を感じたようでした。

浅川社会福祉協議会ではこのサロンのほかにも、出張サロン「まちの縁側」や「浅川社協がおじゃまします」も実施しています。ご興味のある方はお問い合わせください。

電話：262-1362 平日9時～15時





8月28日に開催された第70回長野市社会福祉大会において、浅川地区より2名の方が感謝状を授与されました。10年以上の長きにわたり、地域たすけあい事業の協力会員として社会福祉活動に携わり、その功績が顕著であると認められました。

岡田 哲子 様（神楽橋）
長谷川 保 様（浅川団地）

※50音順

ご協力ありがとうございます

屋敷田にお住まいの方が地域たすけあい事業賛助会員になってくださいました。ご協力に心より感謝申し上げます。

地域たすけあい事業の賛助会員とは、1口1,000円からの地域支援です。

いただいた会費は全額が浅川地区たすけあい事業の運営に使われます。

申込先：たすけあい事業コーディネーター 野口
☎263-3365 まで

「長野市霊園に生息する絶滅危惧種のチョウ“ゴマシジミ”」講演会開かれる

10月25日（金）浅川公民館「地域の学びの講座」として長野市霊園前管理事務所の徳永昭行さんの絶滅危惧種の蝶“ゴマシジミ”に関する講演が行われました。

かつて全国各地で見られたゴマシジミは減り続け、長野市霊園で保護活動を始めた平成28年には最大確認指数は7頭でしたが、区長会ははじめ地区住民の保護活動により令和3年には39頭を数えるに至りました。徳永さんは、現在、県内では松本市奈川と長野市浅川に



【ワレモコウに止まる“ゴマシジミ”】

しか生息が確認されていない貴重な蝶“ゴマシジミ”の珍しい生態を説明、保護活動の重要性と地域のみなさんの理解と協力を訴えました。



【徳永さんの講演と会場の様子】



北部中学校校外学習行われる！～浅川の史跡や働く現場を歩く～

10月10日（木）北部中学校1年生の校外学習と2年生の職場体験が行われました。校外学習では、北中生として普段生活をしている

学区の地域調べや散策を通して地域の歴史や文化を学ぶこと、また職場体験では、キャリア学習として将来社会に出た際の基礎となる素養を磨くことを目的にしています。

1年生は浅川では「ブランド薬師」「浅川ダム」「白岩」「伺去・ループ橋」の4コース、若槻では「上野」「東条」「稲田・徳間」の3コースに分かれて散策し地域の方から説明を受けました。2年生は学区内のリンゴ農家で作業の手伝いや、社会福祉協議会の「ひよりの会」に一緒に加わってお年寄りとの交流などの体験学習をしました。



【1年生の校外学習～（左から）ブランド薬師～浅川ダム～真光寺白山神社】



【2年生の職場体験～（左から）ひよりの会、りんご園】



浅川小学校「浅川チャレンジ」行われる！

10月11日（金）子ども達が地域を歩いて浅川地区の自然や史跡等を自分の目で見ることを通して、自分たちの暮らす浅川をさらに知ることの目的に「浅川チャレンジ」が行われました。

各学年ごとに6コースが設けられ、みんなで励まし合いながら目的地を巡りました。現地では区長さんほか地域のみなさんから地域や史跡の説明を受けました。



【1年生（西条諏訪社）】



【2年生（ブランド薬師）】



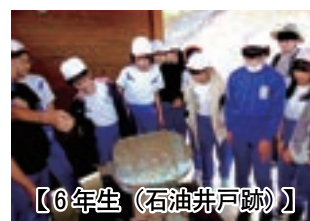
【3年生（籠塚古墳）】



【4年生（長野市霊園）】



【5年生（浅川ダム）】



【6年生（石油井戸跡）】

<予定 12月～1月>

- ☆浅川地区住民福祉大会12月1日（日）
- ☆しめ縄作り（地公連）.....12月15日（日）
- ☆7公民館合同成人式（地公連）.....1月12日（日）

広報委員から

日頃より消防浅川分団の活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

今年は年明けの1月1日「能登半島地震」発生、また8月には「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表され、改めて地震に対し関心が持たれた方も多いと思います。

命を繋ぐ行動の一つに食品備蓄がありますが、缶詰等長期保存食の他に、日常食べている物を多めに買い置きして消費しながら備蓄する「ローリングストック」（備える→食べる→補充する）という考え方があります。普段から食べ慣れている物ですと避難中様々なストレスの緩和にも繋がります。明日から実践してみてもいいでしょうか。

広報委員 日下部正敬（安全防災部会・消防団浅川分団長）